

いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 有限会社 嶋山印刷



北海道電気工業組合

通常総代会開催さる

工業組合

北海道電気工業組合の平成八年度通常総代会が、去る二月二十七日午後二時から札幌市の北海道厚生年金会館で開催され、当組合から吉田理事長のほか三副理事長ならびに理事六名が出席した。

総代会次第

一、開会
一、議長選出

一、議事

第一号議案

平成七年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案

の承認について

第二号議案

平成八年度事業計画及び収支予算案の

承認について

第三号議案

平成八年度賦課金並びにその徴収方法

について

第四号議案

役員報酬について

一、閉会

第五号議案
本日の決議中、その本旨に反せざる字句の訂正を議長に一任の件

なお、総代会開催にさきがけ行なわれた北海道電気工業組合連合会会長表彰式において、組合員の部で岩越勲氏（株岩越電機）、坂村己之吉氏（坂村電機商会）、職員の部で佐藤事務局次長の三名が受賞した。

役員会だより

第七回役員会

七・一・一・一四

一、慶弔報告

(1) 田辺電気工業所代表者逝去
(2) (株)東栄電気工業代表者ご母堂逝去

二、貸付報告

二社 八〇万円

三、各支部報告並提案事項

東支部、八雲支部北松山ブロックが会議を開催

四、総務委員会事項

北海道最低賃金について

組合会計中間監査報告について

平成七年度年末特別融資の申込みについて

組合新年会・永年勤続者表彰式について

日時・場所等について審議決定した。

相続による加入申込みについて

田辺電気工業所

(新)田辺富春 (田)田辺勇治 (承認)

組合脱退申込みについて

(有)吉岡電気工業所 (承認)

譲渡・譲受による加入申込みについて

(株)中電設工事 (有)中電設工事 (承認)

支部運営費の支出について

八雲支部 (八雲・森・北松山ブロック) 福島支
部、江差支部に対する助成について

事務局職員冬期手当の支給について

国民年金基金の加入拡大について

北電電気料金の引下げについて

年末末始における電設工事の申込みについて

事業委員会事項

住宅電気保修センターの処理実績について

第八回役員会

七・一二・七

一、慶弔報告

なし

二、貸付報告

三社 一三〇万円

三、総務委員会事項

「新規高卒者就職促進会」の開催について

譲渡・譲受による加入申込みについて

(株)依田電気工事 (有)東輝電設 (承認)

(株)東輝電設 (有)東輝電設 (承認)

年末年始の業務取扱いについて

北海道電気工事業協同組合連合会会長表彰につ
いて

四、技術委員会事項

計測器受払業務実績について

電気事業法施行規則の改正について

事業委員会事項

住宅電気保修センター処理実績について

全日電工連グループ共済制度運営費等の還付に
ついて

五、事業委員会事項

電気安全セミナーの開催について

北電引込線工事士の資格認定、認定講習、認定
試験の実施

高圧ケーブル末端処理技術講習会の開催につい
て

北電業務取扱説明会について

総代の選出について

六、事業委員会事項

電気安全セミナーの開催について

北電引込線工事士の資格認定、認定講習、認定
試験の実施

高圧ケーブル末端処理技術講習会の開催につい
て

北電業務取扱説明会について

総代の選出について

第十回役員会

八・二・一四

一、慶弔報告

なし

二、貸付報告

五社 二二〇万円

三、各支部報告並提案事項

東支部、中渡島支部、八雲支部八雲・北松山ブロッ
クが支部会議兼新年会を開催

四、総務委員会事項

永年勤続者表彰式、新年会収支決算について

最低資本金の額を満たさない株式会社又は有限
会社の取り扱いについて

北海道電気工事業協同組合連合会会長表彰につ
いて

週法定労働時間の説明会について

電気工事業法に基づく渡島支庁の立入検査につ
いて

第十一回役員会

八・三・二二

一、慶弔報告

なし

二、貸付報告

三社 一三〇万円

三、各支部報告並提案事項

(株)新幹電気設備代表者ご尊父逝去

四、総務委員会事項

各支部それぞれ会議を開催

五、技術委員会事項

週法定労働時間説明会について

渡島支庁による電気工事業法立入検査につ
いて

第十二回役員会

九・一・一

一、慶弔報告

なし

二、貸付報告

なし

三、各支部報告並提案事項

新規学

校卒業者

の採用

について

四、事業委員会事項

組合加入申込み

五、技術委員会事項

昭和電設工業(有)

昭和電設工業

(株)

五稜郭カスガ

(株)

五稜郭カスガ

(承認)

車谷電気

(有)

車谷電気工業所

(承認)

六、事業委員会事項

組合加入申込み

七、技術委員会事項

組合加入申込み

八、事業委員会事項

組合加入申込み

九、技術委員会事項

組合加入申込み

十、事業委員会事項

組合加入申込み

十一、技術委員会事項

組合加入申込み

十二、事業委員会事項

- (7) (6) (5) (4)
組合新加入申込みについて
譲受・譲渡による加入申込みについて
法定脱退の決議について
- ・(有)平井電気——(株)平井電気
・(有)清電工——清電工
・(有)春日電機——春日電機(株)
- ・(有)西澤電気——西沢電気
- 厚生年金基金の加入拡大について
電気保安功労者表彰の推せんについて
組合脱退勧告について
酸素欠乏危険作業主任者技能講習について
事務局第四土曜日の休みについて
「96セフティラリー北海道」の参加について
- 計測器受払業務委託単価の改正について
内線工事会社研修会について
引込線工事士認定講習・試験の結果について
北海道電力(株)松前営業所の廃止について
高圧ケーブル端末処理研修会について
高調波抑制対策の取扱いについて
臨時工事費の運用変更について
「内線規程」説明会の開催について
- 五、技術委員会事項
- 六、事業委員会事項
- 住宅保修センターの処理実績について
住宅保修センターの契約更新について



組 合 行 事

| | | | |
|-------|--|--------|---|
| 12月7日 | 第八回役員会 | 12月16日 | 第六回北工連絡会 |
| 全日 | 北海道電力(株)函館支店との懇談会 | 全日 | 道工業組合技術委員会に吉田理事長出席 (於北海道電気会館) |
| 8日 | 引込線工事士本部認定委員会に吉田理事長出席(於北海道電気会館) | 20日 | 渡島支厅による電気工事業法立入検査 受講者五八名) |
| 15日 | 函館地区団体事務長会役員会に坂本事務局長出席 | 21日 | 週法定労働時間説明会(於組合大会議室)II |
| 19日 | 北支部会議 | 23日 | 渡島支厅による電気工事業法立入検査 |
| 20日 | いなづま編集会議 | 24日 | 中小企業団体中央会道南支部新春講演会に坂本事務局長出席(於ホテル函館ロイヤル) |
| 25日 | 正副理事長会議 | 25日 | 坂本事務局長出席(於ホテル函館ロイヤル)による電気工事業法立入検査 |
| 28日 | 御用仕舞 | 26日 | 同 右 |
| 1月6日 | 御用始 | 27日 | 道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(於北海道厚生年金会館) |
| 11日 | 八雲支部八雲プロック、北海道電力(株)八雲営業所と合同による安全祈願祭を開催 | 28日 | 道工業組合平成八年度通常総代会に吉田理事長ほか理事九名出席(於北海道厚生年金会館) |
| 19日 | 道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(於第一ホテル) | 29日 | 渡島支厅による電気工事業法立入検査 |
| 20日 | 中渡島支部会議兼新年会(於丸仙旅館) | 3月1日 | 引込線工事士認定講習・試験(於組合大会議室)II受講者三〇名 受験者二六名) |
| 23日 | 東支部会議兼新年会(於竹葉) | 5日 | 北電業務研修会(於組合大会議室) |
| 24日 | 道工業組合期末会計監査に佐藤副理事長出席 | 6日 | 同 右 |
| 31日 | 全日商工懇話会総会に坂本事務局長出席(於ホテル花びし) | 10日 | 青年部研修旅行 |
| 2月2日 | 平成七年度永年勤続者表彰式・平成八年新年会(詳細別掲) | 9日 | 八雲支部役員会 |
| 14日 | 北海道電気工事業厚生年金基金代議員会に吉田理事長出席(於北海道電気会館) | 12日 | 道工業組合事務局長会議に坂本事務局長出席(於北海道電気会館) |
| 全日 | 第九回役員会 | 14日 | 赤川支部会議 |
| 22日 | 八雲支部八雲プロック会議兼新年会 | 15日 | 中渡島支部会議 |
| | 第十回役員会 | 16日 | 福島支部会議兼懇親会(於観光ホテル) |
| | | 19日 | 高圧ケーブル端末処理講習会(於組合会議室)II受講者三五名) |

| | |
|-------|---|
| 4月1日 | 全日空函館・広島・新潟線就航記念パーティ に佐藤副理事長出席 |
| 4日 | 定期健康診断の実施 (受診者二六八名) |
| 5日 | 内線規程テレビ説明会 (於北電) |
| 10日 | 東支部会議 |
| 12日 | 正副理事長会議 |
| 12日 | 定期健康診断の実施 (受診者二六八名) |
| 15日 | 定期健康診断の実施 (受診者二六八名) |
| 16日 | 引込線工事土本部認定委員会に吉田理事長出席 (於長万部町) |
| 17日 | 中央支部会議 |
| 17日 | 北支部会議兼懇親会 |
| 19日 | 中渡島支部会議 |
| 22日 | 第一回役員会 |
| 5月17日 | 東支部会議 |
| 全日 | 八雲支部会議 |
| 18日 | 中央支部会議兼懇親会 |
| 全日 | 中渡島支部会議兼懇親会 |
| 全日 | 赤川支部研修旅行 |
| 全日 | 八雲支部森ロック北電と合同観桜会 |
| 22日 | 商工懇話会金融懇談会に坂本事務局長出席 (於中金函館支部) |
| 全日 | 八雲支部北松山ロック会議 |
| 24日 | 北海道管工事業協同組合連合会全道大会に吉田理事長出席 (於ホテル函館ロイヤル) |
| 28日 | 第二回役員会 |
| 31日 | 第四十八回通常総代会、臨時役員会 |
| 31日 | 第二種電気工事士國家試験 (学科) 受験のための準備講習会 |
| 31日 | 電波障害防止協議会函館支部定期総会に吉田理事長出席 (於ホテル函館ロイヤル) |

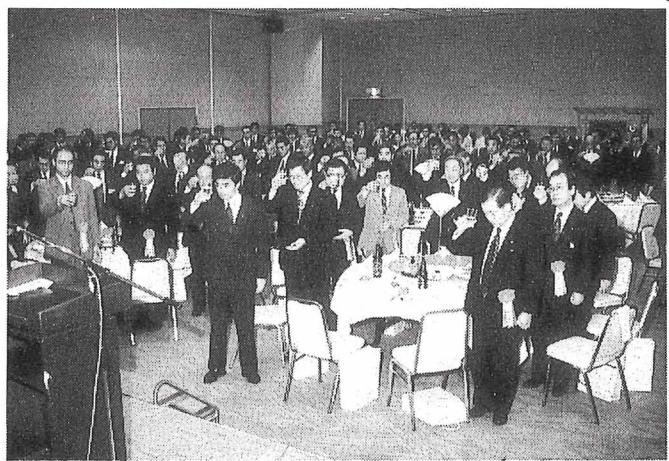


平成七年度永年勤続者表彰式ならびに平成八年新年会が、好天の一月二十六日ホテル函館ロイヤルにおいて開催され、佐藤孝行、金田誠一両衆議院議員ほか三十八名の来賓を迎え、被表彰者・組合員・事務局職員に加え本年度から組合青年部会員も参加、約百八十名が出席して盛大に開催された。

平成七年度永年勤続者表彰式ならびに平成八年新年会が、好天の一月二十六日ホテル函館ロイヤルにおいて開催され、佐藤孝行、金田誠一両衆議院議員ほか三十八名の来賓を迎え、被表彰者・組合員・事務局職員に加え本年度から組合青年部会員も参加、約百八十名が出席して盛大に開催された。

平成七年度永年勤続者表彰式では、吉田理事長が受彰者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡し、出席者一同盛大な拍手で祝福した。

永年勤続者表彰式では、佐藤・金田代議士のほか函館市力爾函館支店長が相次いで登壇、心あたたまるお祝いの言葉を戴き、勤続三十年表彰を受けた清水三也氏 (佐藤電気工事㈱) が受賞者を代表して「今後も職務に精励していく」と謝辞を述べた。



このあと、佐藤征次副理事長の音頭で祝杯をあげて懇親会に入り、新加入組合員の紹介、工藤雅史青年部長の司会で「よさこいソーラン踊り」、「エアロビクス」の披露、カラオケをはじめ出席者の歓談の賑やかな一時をすごし、午後八時三十分北海道電気資材卸業協同組合函館支部長の加藤真氏 (大興電機㈱) 代表取締役副社長により、関係者一同の益々の繁栄と健勝を祈念しての乾杯で無事終宴となつ

永年勤続者表彰式 新宴會

述べた。さらに、電気工事業界

平成七年度永年勤続者表彰名簿
(敬称略)

| 同 | 三興電機 | 勤続15年 | 事務 | 同 | 共栄電気 | 勤続20年 | 佐藤電気 | 樺 | 大倉 | 佐藤電気 | 勤続25年 | 大倉 | 佐藤電気 | 勤続30年 | 勤続30年以上 |
|---|------------|-------------|------|---|---------|-------|------|---------|------|---------|-------|----|---------|-------|---------|
| 同 | (有)タマツ電機工業 | 以上4名 | 右 | 同 | (有)西川電気 | 以上8名 | 同 | (株)松山電気 | 同 | (有)後藤電機 | 以上8名 | 同 | (株)深田電気 | 同 | 以上5名 |
| 右 | 馬中島修英 | | 局 | 同 | (有)大倉倉庫 | | 右 | 同 | 同 | 同 | | 同 | 同 | | |
| 清 | 工藤 | 越飯新井田田木藤政良一 | 電氣工事 | 同 | 後藤電機 | 久保勝彦 | 藤電機 | 樺電工 | 佐藤電機 | 同 | 高橋辰也 | 同 | 成田信也 | 近藤利勝 | 5名 |
| 水 | 修英 | 荒木田木政良 | 右 | 同 | 電氣工事 | 一啓幸 | 同 | 電機 | 電業 | 同 | 久藤昭一 | 同 | 松崎豊 | 藤勝治 | |
| 一 | 昭昇 | 小川達彦 | 右 | 同 | 商会 | 幸 | 右 | 業 | 業 | 同 | 井澤辰也 | 同 | 田信也 | 近藤勝治 | |
| 右 | 眞 | 等 | 右 | 同 | 会 | 等 | 右 | 商 | 業 | 同 | 森正美 | 同 | 谷信也 | 利勝治 | |

北海道支店函館営業所
一、(有)山崎商会(八雲支部)
支社長 中田 進 代表取締役 山崎嗣夫
二、(株)テクセル函館支社(赤川支部)
支社長 後藤 譲 代表取締役 山崎繁樹

北海道支店函館営業所
一、(有)山崎商会(八雲支部)
支社長 中田 進 代表取締役 山崎嗣夫
二、(株)テクセル函館支社(赤川支部)
支社長 後藤 譲 代表取締役 山崎繁樹

北海道支店函館営業所
一、(有)山崎商会(八雲支部)
支社長 中田 進 代表取締役 山崎嗣夫
二、(株)テクセル函館支社(赤川支部)
支社長 後藤 譲 代表取締役 山崎繁樹

〔商号・組織・代表者・住所の変更〕

(新)一、車谷電気(赤川支部)

(旧)一、(有)車谷電氣工業所

一、(有)五稜郭カスガ(赤川支部)

(新)一、(有)五稜郭カスガ

一、(有)平井電気(中央支部)

(新)一、(有)平井電氣

一、(有)西澤電気(赤川支部)

(新)一、(有)西澤電氣

一、(有)清電工(福島支部)

(新)一、(有)清電工

一、(有)春日電機(東支部)

(新)一、(有)春日電機

一、(有)平野電気(中渡島支部)

(新)一、(有)平野電氣

一、(有)吉浦電機(東支部)

(新)一、(有)吉浦電機

一、二月十六日 (新)新營電氣設備代表取締役石川昭夫殿ご尊父石川安治郎殿ご逝去

一、四月中旬 (新)新營電氣設備代表取締役工藤雅史殿病氣入院

組合員の消息

一、四月一〇日 (新)新營電氣設備代表取締役工藤雅史殿
昭夫殿ご尊父石川安治郎殿ご逝去

一、四月二七日 (新)新營電氣設備代表取締役工藤雅史殿
昭夫殿ご尊父石川繁雄殿ご逝去

一、四月二七日 影浦電氣商會代表影浦誠殿ご逝去

一、四月二七日 父影浦重雄殿ご逝去

組合員の異動

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|-----|
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 外 | 北 | 平 | 井 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 | 電 |
| 佐藤電氣 | 電工事 | (株) | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 佐藤電氣 | 電工事 | (株) | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 山内工業 | 同 | 立 | 電 | 氣 | (株) | 三 | 立 | 電 | 氣 | (株) | 三 | 立 | 電 | 氣 | (株) |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |

一、(株)北弘電社函館支社(中央支部)
支社長 中田 進 代表取締役 山崎嗣夫
二、(有)山崎商会(八雲支部)
支社長 後藤 譲 代表取締役 山崎繁樹

一、(株)山崎電氣(八雲支部)
支社長 土井俊博 代表取締役 山崎繁樹

一、(株)山崎電氣(八雲支部)
支社長 後藤 譲 代表取締役 山崎繁樹

一、(株)山崎電氣(八雲支部)
支社長 土井俊博 代表取締役 山崎繁樹

一、(有)丸石電氣(赤川支部)
函館市西桔梗町

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
函館市本通四丁目

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
函館市本通四丁目

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
函館市宮前町一二一五

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
函館市上新川町三一一

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
函館市上新川町二一三

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
函館市上新川町字豊岡

一、(株)工藤電氣商會(赤川支部)
松前郡松前町字豊岡

第48回通常総代会開催

平成八年度通常総代会が、去る五月二十八日(火)組合会館大会議室において、総代定数八十一名中七十九名(うち委任状出席者十四名)が出席して開催されました。

午後二時五分、開会宣言に次いで挨拶にたつた吉田理事長は、

平成七年度は阪神大震災を始め、オーム真理教の凶悪な事件、金融機関の破綻、「住専」の問題など戦後五十年を経て、私達のかつて経験した事のなかつた様な事件が多発しました。

経済面では、昨年後半円高は正が急ピッチで進展し公定歩合が史上最低に引下げられ、更に財政面では、十五兆円規模の景気対策が打ち出される等先行に若干の期待が出て参りました。

こうした中で、私どもの工事業界も公共工事は別として民間工事が激減し、組合員にとっては厳しい年であります。当組合としては、工事量全体としては減少しましたが、北海道電力㈱の引込線工事、計器関連工事共々やや順調な数字を示したほか、道工業組合よりの各事業に対する助成、組合員の協力によって初期の計画を確実に実施することができました。

平成八年度は、昨年度に引き続き国内経済が先行き不透明で私ども電気工事業界にとっては厳しい状態が続くものと思われます。こうした環境にあって組合員の経営安定と福祉の向上を第一とし、週法定労働時間四十時間の実施に向けての条件の整備、各種年金制度への加入、技術講習会の開催など諸事業を実施して参りたいと思います。

本年度も組合、組合員共々情報交換を密に相互理解

を深め一層の連帯と自助努力を高めるよう努力いたします。

続いて正副議長の選出では、指名推せんで工藤定一氏(協信電気工業㈱)矢本里美氏(㈲里見電気工事)が選出され議事の審議に入りました。

第一号議案
平成八年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剩余金処分案について承認を求める件

第二号議案

平成八年度事業計画案ならびに収支予算案について承認を求める件

第一号議案では利用分量配当について、第二号議案では賦課金についての質問、意見がなされました。採決の結果原案どおり承認されました。

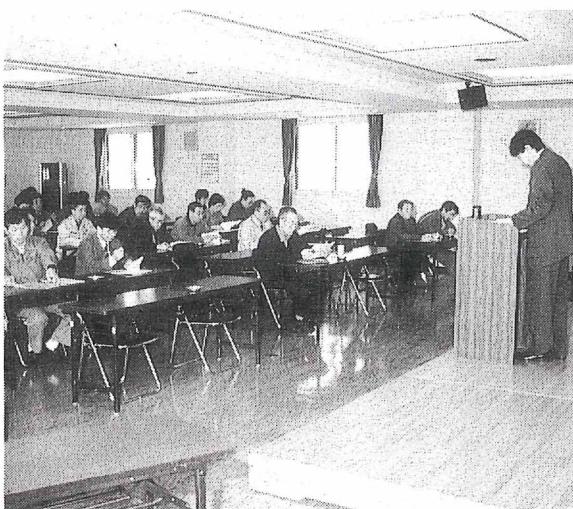
第三号議案

理事および監事の任期満了による改選について

恒例により各支部一名計八名の選挙管理委員を選出し、選挙により理事十五名、統いて監事三名を選出しました。

結果は別掲のとおりで、新任は理事で林一夫氏(日興電気㈱)中央支部)江端挺氏(㈲ヤマト電気工業所)八雲支部)の二名、監事では工藤雅史氏(㈱工藤電気商会)赤川支部)の一名でした。

以上、第一号議案から第三号議案まですべてを承認可決され、午後五時二十五分閉会しました。



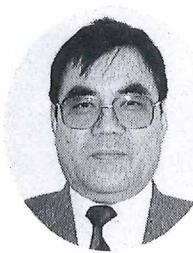
週法定労働時間説明会

平成六年四月一日に施行された改正労働基準法では、一週間の法定労働時間が原則週40時間制に短縮されるとともに、猶予措置の対象となる事業場についても、平成九年四月からは全面的に週40時間制へ移行することとされました。

これに伴ない、組合では函館労働基準監督署の要請を受け、去る二月二十一日(水)午後二時から組合大会議室で説明会を開催しました。

佐藤副理事長の開講あいさつの後、講師の同署金谷繁夫第四方面主任監督官が配布の「労働条件等改善マニュアル」により約一時間三十分に亘つて逐一説明、受講者五八名(五五事業所)が熱心にメモをとりまし

新役員紹介



吉田 要
理事長
昭和三年八月生
函館拓北電業株式会社
代表取締役



佐藤 征次
副理事長
昭和十三年九月生
佐藤電氣工業株式会社
代表取締役



西岡 大成
副理事長
昭和二年十二月生
有限会社西岡電氣
代表取締役



佐々木 三男
理事 (中渡島支部長)
昭和五年二月生
佐々木電氣商會
代表



佐々木 請作
理事 (東支部長)
昭和五年二月生
佐々木電氣商會
代表



上戸 優
理事 (江差支部長)
昭和十三年十二月生
株式会社松山電氣工業
代表取締役



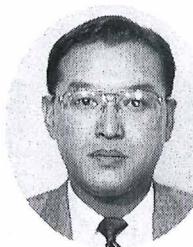
加賀 秀雄
理事 (北支部長)
昭和六年八月生
加賀電氣株式会社
代表取締役



佐々木 三男
理事 (中渡島支部長)
大正十四年三月生
有限会社佐々木電氣工業所
代表取締役



繁田 一義
理事 (福島支部長)
昭和十九年十一月生
株式会社繁田電工
代表取締役



大鎌 哲雄
理事 (赤川支部長)
昭和二十三年十月生
大鎌電氣株式会社
代表取締役



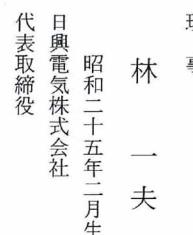
館脇 渉
理事
昭和十九年十月生
館脇電氣工業株式会社
代表取締役



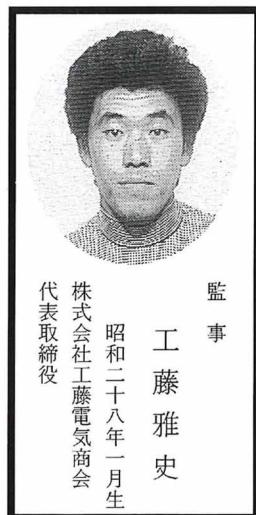
平沼 冠三
理事
昭和二十四年九月生
樺電工業株式会社
代表取締役



繁田 一義
理事 (福島支部長)
昭和十九年十一月生
株式会社繁田電工
代表取締役



林 一夫
理事
昭和二十五年二月生
日興電氣株式会社
代表取締役



平成八年七月十九日逝去

- ◎ 港まつり委員会
委員長 佐藤副理事長
委員 酒井理事長、佐々木(請)
大鎌、平沼各理事
- ◎ いなづま編集委員会
委員長 吉田理事長
委員 佐藤副理事長 佐々木(請)理事
委員 平沼理事
- ◎ 金融委員会
委員長 西岡副理事長
委員 加賀、大鎌、上戸、繁田各理事
- ◎ 事業委員会
委員長 酒井副理事長
委員 加賀、大鎌、上戸、繁田各理事

役員担当業務

電気工事業法に基づく 立入検査

去る五月二十八日開催の第四十八回通常総代会で選出された理事十五名の担当業務が、次のとおり決まりました。

なお、各委員会の業務により、理事以外の皆さまにも、いろいろとご協力をいただきなければなりませんので、その機にはよろしくお願いします。

一、総務委員会

- 委員長 佐藤副理事長
委員 佐々木(請)、佐藤、林各理事

一、技術委員会

- 委員長 酒井副理事長
委員 加賀、大鎌、上戸、繁田各理事

一、事業委員会

- 委員長 西岡副理事長
委員 加賀、大鎌、上戸、繁田各理事

渡島支庁による電気工事業法に基づく立入検査が、二月二十日から二十九日にかけて延べ五日間、三十九事業所（組合員二九、非組合員一〇）を対象に実施されました。

検査の結果指摘された主な事項は別表のとおりですが、「店舗用標識が誤っている」は、昭和六十三年九月一日に「電気工事業の業務の適正化に関する法律（電気工事業法）」が改正されたときに新様式による標識を掲示することとなっているのに旧様式の標識を掲示していたものです。電気工事整理簿の「一部記載済がある」は、注文年月日、着工・竣工年月日、作業者名の記載漏れが大部分です。また、配線図等関係書類が編纂されて居らず、箱の中に入れてあるもの、輪ゴムで保管しているものが未だあったというの、意外でした。なお「保存していない」のは非組合員に多く元請である組合員が保管しているとのことですですが、下請工事の場合は保管するよう指導されて居りますので、元請工事業者はコピーをとつて保管させるよう指導をお願いします。

渡島支庁による 電気工事業法立入検査

平成8・2・20～8・2・29日

5日間

39件

| 3 | 2 | 1 | 標識 | 指摘事項 |
|------------------|-------------------|---|----|------|
| 店舗用標識の記載事項が誤っている | 店舗用標識の掲示場所が不適当である | 1 | | |
| 2 | 7 | 1 | 10 | 組合員 |
| 1 | 2 | 1 | 4 | 員外者 |
| 3 | 9 | 2 | 14 | 計 |



中国文化のルーツ 日本文化のルーツ（十七）

平沼経子

花茶と緑茶

今迄古代の餅茶、宋・元時代の闘茶の話を記したが製法と形から餅茶と散茶の二大系列に分けられている。古代餅茶は「团茶」「片茶」などと呼ばれたが、現在は「緊压茶」と呼ばれている。散茶は「草茶」とも言われていた。

さて、散茶の始まりはいつか、製法を考えると餅茶の方が散茶よりもむづかしいので、先づ散茶が先であつたろうと思われる。ところが散茶の名が文献に出てくるのは七五八年に書かれた「茶經」で、その中に餅茶の製法にふれ、三国時代（二三〇—二八〇）の「広雅」という本にあると書かれている。とすれば、五百年前に餅茶が世に出でたことになる。

散茶は「蒸青」と「炒青」の二つの製法がある。蒸青とは蒸した茶の葉をそのまま広げて乾かす。炒青とは蒸さずに釜で炒る。現在の散茶は多く炒茶の方法をとっている。それでは「炒青散茶」はいつごろ始まったのか。唐の詩人・劉禹錫（七七二—八四一）の詩に「試茶歌」というのがある。

山奥に一人の僧が住んでいる。禪堂の浦に茶の木があつて客が来ると僧はその茶の葉を摘んでてなす。葉を摘んで煎じるまでたちまちのうちである。

「斯時炒成滿室香」またたく間に部屋中に香りが漂う。

「新芽蓮華半未舒」まるまた新芽の芽先もまだ開かない。

このような字句が並んでいるので、この僧の作った茶は炒青散茶であることがわかる。この詩を根拠とすれば千百年も前ということになる。

宋代になると散茶の生産はますます多くなり、自家用ばかりでなく贈物としても使用された。詩人周必大（一一二六—一二〇六）が友人に贈った誕生日祝の中に

建州（現在の福建省建甌）北苑の團茶が八個、会稽（今の紹興）の日鑄茶が二壺。そして「双瓶拣新芽」という句が添えてあつたと言う。この句から茶は餅茶ではなく、新芽で作つた散茶であったことが知られる。当時日鑄茶は北苑の團茶と同様貴重品であった。

散茶の歴史は唐・宋にさかのぼるといつてもやはり餅茶の黄金時代であった。元代を経て明代に入ると皇室では「龍鳳團茶」の製造を禁止した。そこで散茶が貢茶として普及し餅茶にとつてかわった。

散茶が盛んにならうとするとき散茶の新制品として「花茶」が創り出された。その創始者は元代の名画家「倪雲林」。彼が創つたのは今日吾れ吾れが中華料理店で飲むジャスミン茶ではなく、「蓮花茶」であった。

池の蓮のつぼみは早朝いま開こうとしている時、茶の葉をつぼみの中に入れて一昼夜おき、自然に香りをつける。翌日、蓮の花を摘み取り紙に包んで乾かす。これを三回繰り返す。出来上った茶を錫の容器に入れておく。これが標準的な茶花であった。

明代には自分で花茶をつくることが文人達の優雅な趣味となり、大画家「徐渭」はその名手の一人であつた。

| | | 電気工事整理法 | | | | | | | | | | |
|---|------------|---------|---------------------|---|-----------|----------|---|----------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 記載されていない | 2 | 一部記載漏れがある | 3 | 一部記載誤りがある | 配線図等関係書類 | 1 | 記載されていない | 2 | 一部記載漏れがある | 3 | 一部記載誤りがある |
| 1 | 保存していない | 2 | 編纂していない | 1 | 保存していない | 配線図等関係書類 | 1 | 記載されていない | 2 | 一部記載漏れがある | 3 | 一部記載誤りがある |
| 2 | 変更届等諸手続の有無 | 1 | 営業所の住所変更 | 2 | 2 | 7 | 1 | 8 | 1 | 9 | 1 | 11 |
| 3 | 電気工事士法 | 1 | 自家用電気工事に第2種電気工事士を従事 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 6 | 1 | 3 |
| 4 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 9 | 5 | 14 | 2 | 10 | 2 | 14 |

た。彼の作り方は茶の葉をつぼみの中に入れるのではなく、花を摘んで茶の中に混入し錫の容器にしまうという方法である。當時、花茶は梅・蘭・木犀・菊・蓮・ジャスミン・ハマナス・バラ・ミカン・クチナシ・モッコウなど、多くの花が使われていた。
 清代の人の花茶づくりは更に独特なものがあった。武夷山（福建省）に「静修」という道士がいた。彼の作る花茶は香りを人工的にしみ込ませるのではなく、自然の力を利用した。その方法は茶の木を梅や木瓜などの花木の間に植え梅に近いものは梅、木瓜に近いものは木瓜の匂がついたという。花茶は清代の中期・末期には大量に生産されて市場に出るようになり、北京・天津・華北・東北・西北地区へと販路が広がった。当時は「香片」と呼ばれ各地区的茶館では各種の花茶が供された。

今日でも北京人は茶花を好む。真冬、雪の舞う窓外の景色を眺めながらストーブを囲んで、花茶を口に含むとたちまち気分爽快、室内に春の気があふれる感が

あるとのこと。その為か冬の長い北方で特に花茶が好まれるという。

紅茶は花茶について創り出された新製品で明代の中頃に出て、清代には「小種・工夫」などという品名の紅茶があつた。しかし、盛んに飲まれるようになつたのは近代に入つてからである。それはイギリス人が「アヘン」を中国にもたらし、紅茶をヨーロッパに運んだ貿易が原因である。紅茶がヨーロッパで大量に売られた為に、一時期ヨーロッパでは茶はすべて「中国の紅茶」といわれた程であった。ヨーロッパ人は現在も紅茶を好んでいるとのことである。紅茶は中国のお茶の総生産の四分の一にすぎないが、輸出茶の半分を占め、主として欧米に向けられている。紅茶・綠茶は中國茶の双壁とされているが、もう一つの名茶がある。それは自販機で巾をきかしている「ウーロン茶」である。綠茶は発酵させないもの、紅茶は発酵させて赤くなつたもの、烏龍茶は半分発酵させたもので葉の中ほどが綠色、ふちが特殊な処理で発酵させて赤くしたもので「綠葉紅鑲邊」と呼ばれている。

今日、中国茶の六大種類に数えられている烏龍茶・綠茶・紅茶・花茶・白茶・緊圧茶の中で、一番おそく作られた烏龍茶は百年あまりの歴史しかないが、コレステロールを低下させ、高血圧・心臓病・肥満症などに特殊な効果があり、ガンの予防にもなるとの事で内外から歓迎されているとのことである。

「工夫茶」について次の如きが残つてゐる。

明代末期、「閔汶水」という倫茶の名人がいた。年をとつてるので「閔老子」と呼ばれていた。出生は安徽、後に福建に住んだ。当時の名士でその地を通る者は面識のある、なしにかかわらず皆その住居を訪れて、閔老子の茶を味わうのをたのしみとした。

張岱という名士が福建に行った時、名を慕つて訪ねたが閔老子は外出して留守、夜になつてやつと帰宅したが何も言わず又外出した。杖をなくしてさがしに行つたのだった。次に帰つて来たのは夜の十時をすぎていた。その間、客は不平を言わぬじつと待つていた。老子は茶を賞味したい一心だと知るとひどくよろこんで、みづから手を下して茶を用意した。そして客をすがすがしい部屋に迎えた。宅上には古朴(朴とは装飾をしないそのままの木の皮)の荆溪壺、成宣窯の小さな茶碗がしつらえてある。当時、この茶碗は「片磁千金」のほまれを持ち、茶を注ぐと茶の色が銀色を呈し香氣を放つ。客は「すばらしい」を連発してよろこんだ。

後に張岱はその情景について「陶庵夢憶」という本の中に次のように記している。「私は汝水に尋ねた。「この茶はどこの産ですか」「閔苑の茶です」と。私は再び味わつてみた。そして「ご冗談を。閔苑の製法ではありますかが味は似ておりません」「ならばあなたはどこの産と思われますか」と含み笑いをしながら老子が問う。私は更に一口味わつてみた。

「これは羅界(浙江省長興産の茶の名)のよう思いますが」「お見事!!お見事!!」と汝水は舌を巻いた。客は茶を味わつてその製法、産地をいいあって、そして水のことを尋ねる。朱人の質問を一つ一つ解いて水質の優劣を指摘するだけでなく、茶の新旧、若さの程度もかぎ分けた。汝水はしきりに客のすばらしさを称えた。当時の倫茶のしきたりでは客が本当に茶の味を知り、奥義を明らかにしたならば、主人はさらによい茶でもなす事になつてゐた。

しばらく席を外した汝水が急須を持って来て一杯ついでくれた。「これどうぞ」「香りが高く濃厚な味です。これは春茶ではないだろうか。さきほどいただいたのは秋茶でしたが」汝水は呵呵大笑して「私は七十才になりますが、茶の道にこれ程優れた方にめぐり会つたのは始めてです」と。こうして張岱と閔汶水は交りを結んだ……。

この話から倫茶は一つの芸術であると言つてもいい。茶は清代に至つて「工夫茶」に発展した。倫茶は茶を煮るが、工夫茶は茶を急須に入れて熱湯を注ぐ。つまり現代の茶の入れ方である。倫茶が鑑賞を主とすれば、工夫茶は礼儀を重んじ茶の味わいの方は禅定の精神に似ていると言える。

工夫茶は主に福建省南部、広東省の潮州、汕頭、東南アジア一帯で盛んに行われ、様式は各地それぞれ似ている。福建省南部では次の次第である。

先づは賞茶。客・主人、三・四人が座につく。主人は茶を取り出してその特徴と風味を述べる。客は順に茶の香りをかいだり鑑賞したりして品評し茶について話をする。続いて主人は茶を入れて技を披露する。

温壺。工夫茶に使用する茶器は小さくて精巧。「玉書碨」と呼ばれる急須はこぶし大。まず急須に熱湯を注いで温める。

入茶。茶の味に影響するので手は使用せず茶さじ、漏斗(じょうご)を使う。茶の量は急須の容積の二分の一、あるいは急須いっぱいに入れる。その量は驚く程多い。

潤茶。急須に入れた茶の葉に熱湯を注ぐのだが、その際急須の上、十五一二十センチの高さから注ぐのである。こうすると急須の中の茶の葉がおどり廻つてよく洗われるからである。そしてその湯をする。

泡茶。再び熱湯を急須に注ぎ茶の泡を取り除いて急須にふたをする。急須内の葉を平均にあたため一定の温度を保つ為に、急須の外側に熱湯をかける。これを「澆壺」という。湯にひたしたタオルで急須をおおう事もある。

茶がよく出たところで主人は一列に並べた茶碗に茶を注ぎわける。これでワンコースである。私はたつた一回何流だったか流儀は忘れたが、煎茶の茶会に招ばれたことがある。たしかに茶碗は小さかつた。大口なら一口ですむ位の量しか入っていない。まさか一口といふわけにもいかないから、おちょぼ口で三口にのんだが、「優雅」とはなかなか肩の張るものという経験

がある。

さて中国流では茶を注ぐ時に極めて凝った注ぎ方をする。先ず中指で取っ手をおさえて急須を持ちあげ盤の縁を数回まわす。これは急須の底についた水が滴り落ち、茶碗に入らないようにする為である。これを「遊山玩水」という。日本流なら麻の茶巾でふくところなのだが…。

それから茶碗の一つ一つに注がず急須を横にして、並べた茶碗に注ぎます。(私の理解ではふたを取つて出し口でなく湯の入り口から茶碗に直接注ぐのではないか?)公正、平等の精神を体現するためである。これを「閑公巡城」(閑公が城を巡る)という。

茶を注ぎ終ると主人は一杯目の茶を捧げてうやうやしく上座の主客に勧める。これを「敬茶」という。そのあと客は茶碗を擧げて主人に敬意を表する。そして茶の色を見、香りをかぎ、ゆっくり茶を味わう。

興のわいた客は茶碗を鼻と唇の間まで持ち上げ、両眼を軽く閉じて酔いしれる。あたかも座禅を組んで外界の万物を全然意識しないかのように…。

その境地に入らなければその眞の味はわからないといわれる。これは一種の超然たる芸術の楽しみである。勿論、これは茶を味わうための「工夫」(造詣)が必要であり、工夫茶と言われるゆえんであろう。

中国の茶道は陸羽の「煎茶」から五代の「分茶」、宋・元の「闘茶」、明・清の「瀹茶」と「工夫茶」まで、それぞれの作法や特色があるとはいえ、芸術性を重んずる点では相通ずるものがあると思う。

「分茶」、「闘茶」は遊びに重点がおかれているが、「瀹茶」と「工夫茶」は鑑賞力と心の静寂を重んじ、壁に面して参禅するのに似ている。これは「和敬静寂」の茶道の精神に通ずるものがあり、中国と日本の茶道が「儒禪文化」を歴史背景とすることと密接な関係があるのであろう。

中小企業事業主の皆様へ

週40時間労働の準備は済みましたか!

(来年4月から週40時間労働制が全面適用となります。)

北海道労働基準局・労働基準監督署

現在の法定労働時間のうち、猶予措置(週44時間)は平成9年3月1日で廃止され、原則週40時間が全面適用されます。

なお、10人未満の商業・映画演劇業・保健衛生業・接客娯楽業に対する特例措置(現在は週46時間)は継続される予定です。

40時間労働制に対応する方法の代表的な例は次のとおりです。

- ① 1日8時間とし、完全週休2日制とする方法
- ② 1日7時間30分とし、4週7休制とする方法
- ③ 1日7時間15分とし、隔週週休2日制とする方法
- ④ 月～金は7時間20分、土は3時間20分とし、週休1日制とする方法
- ⑤ 1年単位の変形労働時間制により週40時間を達成する方法
(1日の所定労働時間が8時間の場合、年間必要休日日数は105日)

詳細につきましては、北海道労働基準局監督課(☎011-709-2311 内線3538)又はお近くの労働基準監督署にお尋ねください。

時短奨励金を活用して時短を進めよう。

猶予措置対象で週40時間未達成の事業場が、①300万円(30人以下の事業場は150万円)以上の省力化投資(リース可)、②時短にともない労働者数を増やすための労働者新規雇入のどちらかの措置を行い、週所定労働時間を1時間以上短縮した場合、事業場規模及び短縮した週所定労働時間数に応じて、25万円から375万円の時短奨励金を支給する制度です。

なお、平成8年度中に、時短奨励金制度の一部が拡充される予定です。

また、省力化投資等又は新規雇入実施前に、手続きを開始することが必要ですので、詳細につきましては、(☎)北海道労働基準協会連合会・労働時間短縮支援センター北海道支部

(☎ 011-747-6141、FAX 011-747-6238)にお問い合わせください。

黄綬褒章受章



理事長

吉田 要氏



平成八年度春の栄典において、多年に亘り電気工事業界の発展に尽力され、業界の指導育成に努められた功績により、北海道電気工業組合島津孝吉理事長の推薦を経て、栄ある黄綬褒章を受章しました。

ご当人はもとより、業界・当組合とともに大変慶ばしいことで心からお祝い申し上げます。

受章祝賀会は、六月十九日ホテル函館ロイヤルにおいて三百余名が出席して開催されました。会場の都合で全組合員にご案内することができませんでしたので、本誌を借りてお詫び申し上げます。

お気軽に税金相談

「パートの収入にはいくらまで税金がかからないの?」、「青色申告のメリットは?」、「親から住宅資金を援助してもらったんだが」等々、税金に関するお分かりにならない点はございませんか。

こんなとき、お気軽に相談できる窓口をご紹介しましょう。

税務相談室

1 税務相談室をご利用ください

財務相談室は、国税に関するいろいろなご質問にお答えする窓口で、国税局と主要都市の税務署に設置されていますので、お気軽にご利用ください。

2 電話でも相談できます

税務相談室での相談方法には、面接相談と電話相談の2通りがありますが、電話相談は手軽にご利用できますので、忙しい方や税務相談室から遠い方にも大変便利です。

タックスアンサー（税金電話相談）

タックスアンサーは、電話での相談にコンピュータが自動的に回答するシステムで、身近な税金の問題など現在の収録項目は約600コードです。

タックスアンサーの電話番号、利用方法、解説の項目、コード番号は「タックスアンサーコード表」に取りまとめられ、税務署や市町村役場の窓口などに備え付けてあります。

また、ファクシミリにより、相談の回答を活字で入手することもできますのでご利用ください。

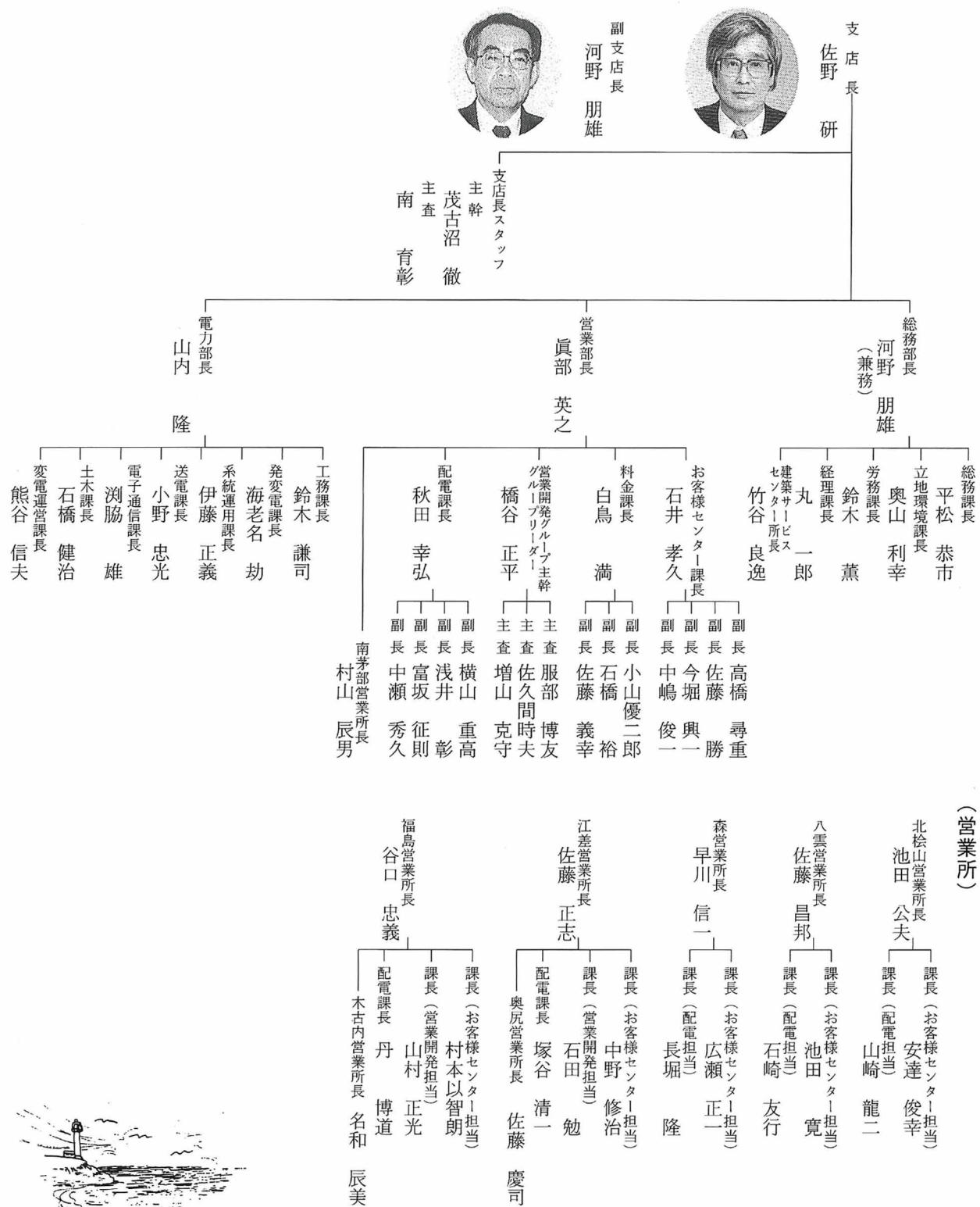
(財)日本税務協会

(財)日本税務協会は、国の委託を受けて、税理士である指導員が小企業者の記帳指導、税知識の普及などをを行っています。

こちらも、お気軽にご利用ください。

北海道電力(株)函館支店組織図

平成 8 年 7 月 1 日



暑申お見舞い申し上げます

次代の変化にこたえる感性
総合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

函館市大繩町二十二番十四号
電話 040-411-22241

A&i
快適を科学します

松下電工株式会社 函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 041-491-1525

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 041-31
電山電話函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 041-31
○二八三モ雲六町五一丁内一丁一浦一目一八
三町六二六九二一一四二一
六〇四一〇九七九七一七



電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

040

函館市松四川町一三四二一三一—一三

未来環境を語る・造る

株式会社工函三業ヤ所

041

函館市富岡町二丁目四一
電話 040-431-3011
（代表）
本社 札幌・営業所 鉾路、苦小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社 函館営業所

支本
函館営業所 040-063-060
函館市苦小牧札幌市中央区北六条西二
○館○牧○市一市一新○三八松四中○野二
三三町二五町四丁一丁一五五四二二
二三番二自九三二二番二自九三二二
○十七二番一一番番
(代号)(代号)(代号)

日松立電線(株)代理店

北進商事株式会社

040
F電函館市的場町十九番二十一
A X 話 五五五
五五五
一 二 三 二 七 二 四 〇 一 五 号

電設機材
エレクトロニクス
総合商社

田中商事株式会社 函館営業所

040
函館市龜田町四〇一三番八〇八号
電話 040-588-8888
本社 東京